



第2号

港北区体育指導委員
連絡協議会広報紙

汗の生み出す指

KOHOKU

No. 2

平成9年2月19日発行

発行者
港北区体育指導委員連絡協議会

編集
港北区体指協広報委員会

事務局
港北区大豆戸町26-1
港北区役所地域振興課内
☎ 045-540-2240
FAX 045-540-2245

第1回 港北区ペタンク大会開催!!

(かながわ・ゆめ国体開催記念大会)

... “新羽トマト” チーム逆転優勝” ...

平成8年11月3日(祝)、第1回目の港北区ペタンク大会が開催されました。前日からの雨の影響が心配される中での開催でしたが、大会役員の意気込みが通じたのか、決勝トーナメントが始まる頃には青空も覗いていました。この大会は、港北区体育指導委員連絡協議会、港北区体育協会、港北区さわやかスポーツ普及委員会及び港北区役所の共催により、『誰でも気軽に楽しめるスポーツの推進』と『国体への気運づくり』を目的に、平成10年に開催される『かながわ・ゆめ国体』記念大会として行われました。

午前中に行われた予選は、16ブロック(A~P)で、1チームにつき2試合を行い、勝数の多いチームが決勝トーナメントに出場するという方式で争われ、55チーム、総勢155名(1チーム3名)が参加しました。



建設中の「横浜国際総合競技場」を目の前に白熱した試合が行われた。



師岡Aチーム代表の大島たかとしさんの選手宣誓

会場となった横浜ラポール(新横浜)のグラウンドは、老若男女の歓声に包まれる中、白熱した試合が繰り広げられました。また、昼食休憩中には、世界選手権出場者によるエキシビジョンが行われ、世界的な技術の披露に参加者からの大きな拍手が贈られていました。

午後には、予選を勝ち残った16チームによる決勝トーナメントが行われ、『新羽トマト』チームと『大曾根ヤングマン』チームで行われた決勝戦は、まさに、決勝戦の名にふさわしい激戦となり、最後に大逆転の末『新羽トマト』チームが13対12のスコアで辛勝し、第1回大会優勝の栄冠に輝きました。

※ “ペタンク” は、はじめに投げた標的球に2つのチームがボールを投げ合い、より近づけることによって得点を競うフランス生れのスポーツです。

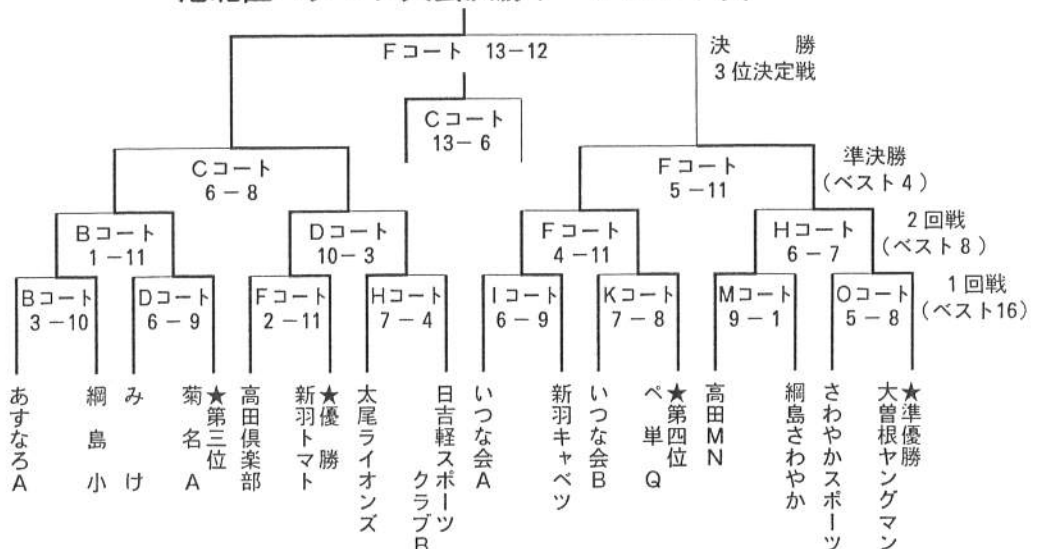
港北区ペタンク大会決勝トーナメント表

大会結果

- 優勝 新羽トマト
- 準優勝 大曾根ヤングマン
- 第3位 菊名A
- 第4位 ペ単Q (高田)

優勝チームメンバー

- 新羽トマトチーム
- 菅原 正男さん
 - 萩原 孝さん
 - 秋元 朝光さん



第51回 国民体育大会『ひろしま国体』を視察して

港北区体育指導委員連絡協議会会長 伊藤 暢 博

やや日射しの薄れかけたメインスタンドの上空に、五色の花火が打ち上げられ、噴霧放水によってつくられた虹が大きく競技場をまたいだ。

平成10年10月29日、これで第53回国民体育大会の秋季大会、そして『かながわ・ゆめ国体』の全ての日程が終



わった……とは、『ひろしま国体』の視察の疲れか、うたた寝でのこんな白昼夢であった。

我々は、体協代表2名、体指代表1名、事務局2名で10月15日に広島に向かった。もとはといえば、広島でのメイン会場である広域公園陸上競技場がある安佐南区が港北区に似通った立地条件であり、その地元での国体への対応を重視したかったからだ。

広島駅には、ポスター、横断幕、マスコットの“咲ちゃん”の人形等がホームなど至る所に飾られていた。駅前にはテント村があり、受付、案内、湯茶の接待、お土産コーナーなどが賑っていた。

我々は、そこに働いていた幾人かにインタビューする機会を得た。例えば、保護司だと言う男性は、動員は保護司会、民生委員、女性会（婦人会？）などということだったが、その内容については、残念ながら回答を得られなかった。

体指・青指の役割りについても「名称を聞いたことがある程度」と話していた。確かに、横浜の体指の数と他都市との数とは格段の差があるとは知っていたので納得も出来た。また、体操会場にいた若者に聞いたところ、専門学校生で、学校で募集を知ったので応募したもので、あくまで個人的なボランティア（市民協力員）であった。結局、体指・青指の人には会うことはできなかった。幾種類のスタッフジャンパーの中にいたかもしれないが、雑踏の中では聞くすべもなかった。

『かながわ・ゆめ国体』では、横浜アリーナが体操会場となることから、我々は、早速体操会場へと向かった。



山陽線新井口（しんいのぐち）駅近くの広島サンプラザが会場であった。少年男女の競技が始まっていた。ここでは1県男女4名で、4名がそれぞれが男子は、ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒の6種目、女子は跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆかの4種目が行われ、フロアーには各種の用具が配置され、各県は順番に練習、本番と移動しながら競技が進められていた。二階観覧席

には、“がんばれ神奈川”の横断幕も目についた。

今回の視察の目的は、国体それぞれの競技は言うに及ばず、会場周辺での大会への対応についての見聞であった。ここで、『ひろしま国体』の開催までの取組みについて記そう。

平成3年の開催時期の決定から準備室の開設とともに、情報誌の発行、平成4年には地域への協力依頼など、そして、平成6年には、各区ごとに各種団体の代表（体育協会など）からなる市民組織が設立されている。

神奈川大会も平成5年開催内定からすると、何か我々の耳に入る情報が遅々としている様に思えてならない。



広島のある区での大会支援活動のパンフレットには、“市民一人ひとりが市民運動を通じて国

体に参加し、広島市を訪れる全国からの大会参加者をあたたかく歓迎しましょう。”のスローガンを基に、環境美化活動では門前クリーンキャンペーン、会場周辺、町内などの飾花、炬火リレーコースの美化、放置自転車をなくす運動など、また、大会支援活動では、市民協力員の派遣、休息所での炊き出し、競技場での選手の応援激励幕の作成などが記されていた。会場入口にあった花が植えられたプランターには“〇〇小学校〇〇さんが育てた花です。”などのステッカーが貼ってあった。

閉会式は、メイン会場である広域運動公園陸上競技場において高窓宮御夫妻の御臨席を得ての式典であった。

集団演技も派手やかに、小学生から成人女子まで、県内各学校、諸団体の延総数7,700名が5つにテーマで演技が披露され、それは感動的であった。

これは一つの見方であるが、『かながわ・ゆめ国体』では、集団演技は実施しないとの噂であるが、やはり開会・閉会の観客動員の手段としては、無駄とは言いながらも、必要悪とも容認せざるを得ないと思う。

全体を通じて、我々は出来上がっているものを見ているだけで、その下で培われた多くの努力を見失ってはならないと思う。表面上の華やかさは、言うならば、大会演出上の成果であって、結果はいつも見る人にはシビアに感じるものかもしれない。

“派手は無駄”，しかし、スポーツの祭典もメインスポーツだけではプロのスポーツイベントと違って、盛り上がりは欠ける思う。

そして、いわゆる県民一人ひとりが大会参加への意気込みを自覚して一つでも多くの拍手の中で、“有終の美”が飾れるならば、それが全国からの参加者への応援に他ならない。

地区活動紹介コーナー

港北区体指協の活動は、13の地区を基盤として行われています。このコーナーでは、各地区の活動を紹介していきます。

〈大曽根地区〉 私たち大曽根体指は、男性8名、女性5名の13名で構成されています。特徴と言えば、皆さんも御存知のとおり質量伴った女性体指の充実振りでしょう。その存在には男性体指も一目も、二目も置いています。もっとも男性体指も負けてはいません。体指活動には私利を捨てて頑張っています。年齢構成は40歳から60際迄とやや高齢化の兆しが見えますが、口はいたって達者なもの、全員意気軒昂、若さに溢れています。もっとも、体指活動がデモンストレーターではなく、地区のスポーツ振興のコーディネイターと考えれば、その生活経験と口数の多さで十分に機能していると考えます。

私たちの紹介はこのあたりにして、大曽根地区の活動をお知らせします。毎月20日以降の月曜日に会合を持ち、打ち合わせをします。活動の骨組みは4本で、年間を通してのもの、時期的な行事、地域行事の後援そして市や区の活動への参加です。以上を順に述べていきたいと思ひます。
(蓮田雅弘)

1. 通年活動

- (1) 町民テニス教室 横浜銀行のテニスコートをお借りして、4月～11月の毎月曜日に行います。資格は大曽根町民であること。30歳～70歳の約40人が参加しています。
- (2) さわやかスポーツ 大曽根小学校体育館を使用して、毎土曜日の午後7時～9時にインディアカを中心に約30名の参加者で行っています。
- (3) 早朝ソフトボール 横浜銀行グラウンドを使用して、毎日曜日に町内5チームのリーグ戦を行っています。参加者は70名程です。
- (4) グランドゴルフ 大曽根小学校を使用して、毎日曜日の午後1時～3時に老人会を中心に活動しています。御存知のとおり区大会4連覇中です。

2. 時期的な行事

- (1) 町民テニス大会 昨年度は、11月23日に約50名の参加により開催。急造体指ペアが優勝し、ひんしゅくをかいました。
- (2) 町民スキー教室 3月の第2土曜日～日曜日に長野県野沢温泉スキー場へ。参加者30名。

3. 町会行事の後援

大曽根には行事運営のために体指を中心として約40名で事業委員会を組織し、活動しています。

- (1) 健民祭 体指で企画・立案し、事業委員会で運営しています。約1,000名の町民が参加しています。
- (2) 盆踊り 事業委員会として焼きそばと生ビールを販売。

4. 市、区の体指活動については、全員参加を原則とし割り当てについては各体指に希望を募り、参加の機会が公平になるように努めています。

以上、大曽根体指の活動を述べてきましたが、大曽根住民がより親しく、より積極的にスポーツに馴染み、健康な生活を送れるよう体指一同頑張る所存です。良く議論し、良く飲み、良く活動する。これが大曽根体指のモットーです。

〈樽町地区〉 “楽しく明るい町づくり”それが私たちの樽町体育指導委員の目指すところです。そしてそのために私たち体育指導委員は、青少年指導員とともに地域の皆様の協力のもと、スポーツや各種イベントを行ってきました。

現在、私たち9名の体育指導委員は、月1回の定例会、地域事業計画等を青少年指導員の方々と力を合わせて企画、参加をしています。

“さわやかスポーツ”その言葉を目標に、私たちが企画したイベントには多くの参加者が集まり楽しんでもらっています。その一つとして、樽町運動公園を使用してのグランドゴルフ大会、凧上げ大会、また樽町中学校体育館を利用したソフトバレーなど、にぎやかな一日を過ごしていただいています。また、野外行事、盆踊り大会、そして餅つき大会などを、子供会、青少年指導員の協力をいただいで企画しています。皆様には、こぞって参加していただきたいと思っています。これからも、樽町体育指導委員は青少年指導員とともにスポーツや各種イベントを通じて、地域の皆様とともに楽しく明るい町づくりに協力していきたいと思ひます。
(和泉 誠)

平成8年度事業

- | | | |
|-------------|-----------------|-------------|
| 1 ソフトバレー | 日時:毎週金曜日19時～21時 | 場所:樽町中学校体育館 |
| 2 グランドゴルフ大会 | 日時:平成8年10月13日 | 場所:樽町運動公園 |
| 3 餅つき大会 | 日時:平成8年12月8日 | 場所:白梅幼稚園 |

◆第37回全国体育指導委員研究協議会が開催

第37回全国体育指導委員研究協議会が平成8年11月12日(火)・13日(水)に、国立横浜国際会議場(みなとみらい)において開催されました。当日は、港北区体指協からも伊藤会長をはじめ、数名が運営役員として活動するとともに、また大会へも十数名が参加しました。



地下鉄の駅で活動するみなさん

◆港北区体指協研修会の開催

平成8年11月30日(土)港北区役所において区体指協研修会が約60名の参加により、開催されました。

『地域の活動と体指の役割』をテーマに、横浜商科大学の鈴木教授を講師として、ブレインストーミング方式により行われました。『地域での活動方法』や『体指の役割、資質及び能力』などの課題について、各グループで活発な討議が行われた後、グループの代表者により発表されました。

赤城さん (師岡地区体指) が、『スポレクぐんま '96』 (走り幅跳び) で見事準優勝!!

平成8年11月2日から4日間にわたり、群馬県で開催された『第9回全国スポーツ・レクリエーション祭』において、師岡地区体指の赤城久人さん(54歳)が、“走り幅跳び”で見事準優勝の栄冠に輝きました。

今回、赤城さんが出場したのは、マスターズ陸上の50歳～54歳の部(30歳から5歳刻み。)の“200m”“走り幅跳び”“400mリレー”の3種目で、スポレク祭のマスターズ陸上には、県マスターズ陸上競技連盟加盟者の中から各クラス、各種目ごとに上位1名ずつが、連盟に推薦されて出場できるということです(ただし、前年の『スポレク祭』入賞者は同クラスでの出場不可。今大会は、神奈川マスターズ陸上競技連盟からは16名が参加。)



神奈川県のゼッケン番号は14

赤城さんは、筋力トレとランニングを一日ごと、1時間半のトレーニングを毎日仕事が終わった後に行っているとのこと、「競技にはともあれ、地区でのもちつき大会などで大いに役立っているかな。」と、終始スポーツマンらしいさわやかな笑顔がとても印象的でした。

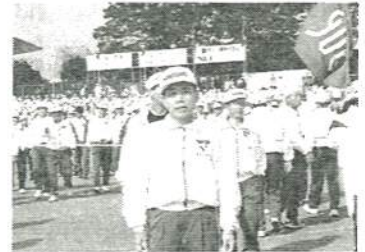
赤城さんが陸上競技を始められたのは、平成5年に師岡地区体指会長として区協議会の月例会に出席した際、『横浜市民マスターズスポーツ大会』のチラシを見て、「今までソフトボールはやっていただけ、陸上ではどの程度かな。」との腕試しのつもりで出場したのがきっかけで、その時の“100m”の記録が14秒2だったそうです。ちなみに最近では、昨年7月20日に三ツ沢競技場で開催された港北区陸上競技大会での12秒5(壮年50代の部での大会新記録)と走り幅跳び5m23cmがベスト記録とのことでした。



一番左が赤城さん

『スポレク祭』出場の感想を伺ったところ「初めての出場で、入賞できるとは思ってもみなかった。今年の沖縄大会にも是非とも出場し、他の種目でも入賞を目指したい。」とのことでした。

赤城さんが陸上競技を始められたのは、平成5年に師岡地区体指会長として区協議会の月例会に出席した際、『横浜市民マスターズスポーツ大会』のチラシを見て、「今までソフトボールはやっていただけ、陸上ではどの程度かな。」との腕試しのつもりで出場したのがきっかけで、その時の“100m”の記録が14秒2だったそうです。ちなみに最近では、昨年7月20日に三ツ沢競技場で開催された港北区陸上競技大会での12秒5(壮年50代の部での大会新記録)と走り幅跳び5m23cmがベスト記録とのことでした。



開会式で県の代表メンバーと進行

—— 赤城さん!! 今年の大会は是非とも優勝目指してがんばってください!! ——

〔体指マメ知識〕

『スポレク祭』って何?

『全国スポーツ・レクリエーション祭』は、国体とは違った生涯スポーツのイベントを開催しようとする機運の盛り上がりの中、文部省の生涯スポーツ振興策の一つとして、昭和63年に第1回大会として山梨県で開催され、(山梨県は昭和61年に国体が開催したばかりで、施設がおおむね整備されていたため)平成8年度は第9回大会として群馬県で開催されました。

開催種目は、グランドゴルフ、ゲートボール、壮年サッカー、ソフトバレーボール、女子ソフトボール、ラジボール卓球、ターゲット・バードゴルフ、男女混合綱引き、年齢別テニス、年齢別ソフトテニス、バウンドテニス、年齢別バドミントン、壮年ボウリング、マスターズ陸上競技、インディアカの15種目です。

| 開催状況 | | 開催予定 | |
|------------|------|-------------|-----|
| 開催年度 | 開催地 | 開催年度 | 開催地 |
| 第1回(昭和63年) | 山梨県 | 第10回(平成9年) | 沖縄県 |
| 第2回(平成元年) | 愛媛県 | 第11回(平成10年) | 岐阜県 |
| 第3回(平成2年) | 和歌山県 | 第12回(平成11年) | 山形県 |
| 第4回(平成3年) | 熊本県 | 第13回(平成12年) | 石川県 |
| 第5回(平成4年) | 島根県 | 第14回(平成13年) | 三重県 |
| 第6回(平成5年) | 千葉県 | | |
| 第7回(平成6年) | 北九州市 | | |
| 第8回(平成7年) | 奈良県 | | |
| 第9回(平成8年) | 群馬県 | | |

【表彰受賞者氏名】

関東体育指導委員協議会功労者表彰受賞

堀越信夫(日吉地区)

小形昭一(高田地区)

神奈川県体育功労者表彰受賞

伊藤暢博(城郷地区)

全国体育指導委員連合功労者表彰受賞

神奈川県30年勤続体育指導委員表彰受賞

堀越信夫

編集後記

◆ベタंक大会の前日は、肌寒く雨が降りしきる中、小形副会長をはじめ、ベタंक委員会の方々コートライン引きを行っていただきました。皆さんほうとうにご苦労様でした。◆ベタंक大会の当日の朝6時半ごろ、堀内新羽地区会長さんがコート状況を心配して、会場までいらっしゃっていました。開催できてよかった。◆急な取材の上、職場までおじゃまさせていただき、赤城さんありがとうございます。◆「発行が遅い。」というお叱りの声が聞こえて来そうですが…今後とも発行を待ち遠しく思われる広報紙を目指してがんばりますので、よろしくお願いたします。(事務局N)

